

編集 発行 根本校区地域福祉協議会

多治見市北丘町1-73(根本22区民館構内) Tel & fax 0572-27-6605

ふれあいねもとは



[相談窓口] 民生児童委員相談窓口 相談窓口事業部会

10月21日～11月20日(土・日・祝日を除く)22日間延べ61人で対応。対応件数46件(福祉相談1件 家事支援8件 地域内団体との連絡調整3件 市・社協・区関係30件 地域力関係4件)

[子育て支援] 10月7日 根本交流センター 参加者 親7人 子ども7人 スタッフ2人

読み聞かせをしました。「のりものがいっぱい」「あれ あれ だあれ?」「うみキリン」「まあーただよ」の4冊。手遊びと絵かきうたを画用紙いっぱいに描きました。

[昔あそび] 11月16日 根本小学校体育館 民児協&ふれあいねもと16人

昔の子どもはこんな遊びをしました。「めんこ」「おはじき」「お手玉」「竹返し」。

多治見市社会福祉協議会に準備していただいた昔なつかしい遊び道具を使って、ねもと小学校1年生約60人とボランティアさんが一緒になって遊びました。

広い体育館に4つのゾーンをつくり、10分毎に交代して4種類の昔あそびを体験しました。



[ふれあいカフェ] 11月19日 『感染症について』 根本22区民館 参加者 23人

たんぽぽ薬局から講師を派遣していただき感染症と介護予防の話をしていただきました。

高齢者が寝たきりや認知症になる前に「フレイル(Frailty=虚弱)」という状態が長く続きます。「最近痩せてきた」「歩く速度が遅くなった」「疲れ易い」「体を動かすことが減った」「手に力が入らなくなった」。これらはフレイルの兆候です。

進行を遅らせるためには、栄養をしっかりとる、運動(筋トレ)する、社会参加(ボランティア)が大変効果があるという内容のお話でした。同時に「健康・介護相談室」も開催しました。

第4回 N・I・G 根本・いき・いき・元気♪ 健康介護教室

日時:12月17日(木) 10時～11時30分頃まで 場所:根本22区民館ホール

講師: 栄養士 猿爪 三代子 先生

テーマ: 『栄養 食事で気をつけたいこと』 定員: 20名

申し込み:ふれあいねもと ☎ 27-6605 (午前中にお願ひします)

定員20名です。入場時:体温チェックとマスク着用をお願いします。



31区では

フェルト布地で手さげカバンを作る 11月6日 旭ヶ丘第8町内ひまわりサロン

70cm×60cmのフェルトを二つ折りにして裁断し糸や針は使わず相方のひもをお互いに結び合わせて出来上がりです。サロンの時間内に出来るよう、事前に裁断されていたので手提げを編んだり袋状に結ぶだけで素敵なカバンが出来上がりました。かなり手抜きです(笑)

今回は以前北栄包括支援センターに在籍された可児きよみさんと磯崎さんにお世話になりました。



旭ヶ丘第8町内集会所

22区では

交通安全教室 11月6日 ハッピー喫茶 ステーションパーク中央集会所

多治見市道路河川課の3人の交通安全指導員から交通安全のお話を聴きました。

今日は、お年寄り向けのバージョンで、お馴染みの「あけみとまさみち」の寸劇、クイズを取り入れた分かりやすいお話でした。

お年寄りが交通事故に遭うことの多い「交差点の斜め横断」の危険性などについて分かりやすく説明していただきました。

年をとると脚の筋肉が衰えて、横断歩道を渡るとき足を鍛えましょうとNHK2020応援ソング「パプリカ」体操を座ったままで体験し、楽しい講演会となりました。



ねもと地域力から

認知症関連図書・DVDコーナーの新設のお知らせ

ねもと地域力では、令和2年12月から根本交流センターの協力を得て、根本校区のみなさまに認知症に関する知識を深めていただくため、認知症の知識とその予防・介護関連の図書(110冊)と認知症関連のDVDを閲覧・視聴・貸出しができるコーナーを開設します。

これは、ねもと地域力が「認知症に対する地域での支援のあり方検討」について、多治見市の委託を受け「認知症サポート検討部会」を設けて検討してきた成果の一つとして設置するものです。

ぜひとも皆様のご利用をお待ちしております。



世界中が新型コロナ感染で混迷した2020年も暮れようとしています。全世界の人々が、努力してこれを克服し、あたらしい年を安全で幸福な年にしたいものですね。

ふれあいねもとでは、12月26日(土)～1月7日(木)の間お休みをいただきます。どうかみなさま健康で明るいお正月をお迎えください。

ふれあいねもと役員一同